

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	リーディング1	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	プレイヤーコース（ドラム専攻）		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	Stick Control・SYNCOPATION等の海外教則本、プリント						
担当教員情報							
担当教員	麻生 祥一郎・藤本 健一			実務経験の有無・職種	有・プロミュージシャン		
学習目的							
基本的な音符休符の読み。 配布されたリードシートや楽譜を読みながら演奏する。 楽曲を聴きながらコピーする。 またそれらが音楽的な表現で演奏出来る事を目的とします。							
到達目標							
Voアンサンブルやインストアンサンブル等の楽譜やリードシートを音楽的解釈を持って演奏する事。 また、それらを暗譜し、パフォーマンスをできるように自身の音にしていくこと							
教育方法等							
授業概要	次の時限に行われるVoアンサンブルの授業の楽曲を確認しつつ、 その曲で使われるであろうリズムパターンやフレーズを演奏する。 メトロノームや音源を使い、音符休符、テンポ、ダイナミクス等、音楽的表現の練習。 麻生、藤本、2班に分かれて実習。						
注意点	遅刻はしない。迅速なドラムセッティングが出来るよう心掛ける。会話してるとき等に無駄な楽器の音を出さない。 理解出来なかった事は質問する。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス、レベルチェック等			リーディングの意義の理解、個々の実力の理解			
2回	五線、小節、拍子、拍			ドラム譜における左記の理解			
3回	反復記号、演奏順序			リードシート等を読むときの進み方を理解する			
4回	4分音符休符、8分音符休符（1）			様々なテンポで叩き分ける。			
5回	4分音符休符、8分音符休符（2）			リズムパターンやフレーズで解釈する			
6回	16分音符休符（1）			様々なテンポで叩き分ける			
7回	16分音符休符（2）			リズムパターンやフレーズで解釈する			
8回	3連符、6連符、2拍3連（1）			様々なテンポで叩き分ける			
9回	3連符、6連符、2拍3連（2）			リズムパターンやフレーズで解釈する			
10回	付点音符休符			各4分8分16分の理解			
11回	スラー、タイ等			読み方使い方の理解			
12回	シンコペーション（1）			読み方使い方の理解			
13回	シンコペーション（2）			フレーズ、テンポ指定して演奏			
14回	各音符休符複合			複合リズムの演奏			
15回	まとめ			前期まとめ			